

WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
～我がクラブの志と共に～

第4回(通算1618回)例会報告	令和5年7月28日(金)	フォーラム「クラブ奉仕」
ビジター	田原RC: 1名、豊川宝飯RC: 1名、豊橋RC: 1名、豊橋北RC: 2名、豊橋南RC: 2名 豊橋東RC: 1名	
出席報告	総会員数56名(計算会員数44名) 欠席13名 出席率70.45% 前々回修正出席率86.27%	
歌/会場	かがやく空	会場: ロワジュールホテル豊橋 1F「ホールA」18:30～

乾杯

廣瀨成一会員



皆様こんばんは。廣瀨です。
基本的に金曜日が東京のオフィスに出張している兼ね合いから本クラブの出席が少なく、新入会員の方々から知らない人が乾杯をしていると思われるので、改めまして、

漁師の息子。広い浜。と書いて廣瀨と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、山本会長が掲げた、クラブ方針「輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ ～我がクラブの志と共に～」のテーマを目指す第一歩として、クラブの“かなめ”とも言べきクラブ奉仕のフォーラムが加藤ゆり子フォーラムリーダーと各テーブルのテーブルリーダーの進行によって円滑に進められることを楽しみにしています。

「意義ある創立35周年にするために」
クラブ会員相互が楽しい例会となるための「おもしろい」について、本日はお酒も交えて笑顔で活発な意見が飛び交うフォーラムとなります事を念じて乾杯をさせていただきます。それでは、声高らかにご唱和をお願いいたします。

「乾杯」
ご唱和ありがとうございました。

ができる。
親睦活動委員長及び全会員の皆様方をお願い申し上げます。当日まで参加者希望を募って下さい。

入会記念日祝い

辻 信之会員



フォーラム「クラブ奉仕」

～輝こう! ゴールデンロータリークラブを目指して～



神谷 馨ロータリー情報委員長
ロータリー情報委員長の神谷 馨でございます。本日は、本年度最初のクラブ奉仕委員会フォーラムでございます。

クラブ方針『輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ～我がクラブの志と共に～』の実現のため、以下の2つのテーマについて話し合ってください。

1. ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんな事ですか?
2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか?

テーマに基づき闊達なご意見をよろしくお願い致します。

フォーラムリーダー 加藤ゆり子クラブ奉仕委員長



こんばんわ。クラブ奉仕委員長の加藤です。本日は今年度1回目の夜フォーラムに、ご参加ありがとうございます。フォーラムテーマ輝こう! ゴールデンロータリークラブを目指して…と題して、会長方針の中にク

会長の時間

山本雅久会長



皆さんこんばんは第4回の例会を執り行わせていただきます。

本日は8月26日の親睦委員会の南知多のバーベキューについてお話します。当日の参加人数が80名を目標に取り組んでいるが例会前一回目締め切りでは60名で例会後は70名に近く参加者が増え喜んでいます。このように喜びの中で奉仕活動をするにはいいことです。ロータリーの格言で入りて学び出でて奉仕せよという言葉があります。外から眺めていても何も解決しない、皆さんと一緒に活動して初めて理解すること



ラブ会員への思いやり、地域社会への思いやりを学び楽しい例会と楽しい奉仕活動を大切にするとありますが、地域活動への思いやりとはどんな事か？楽しい例会、楽しい奉仕活動にするには、何が大事なのか？をフォーラムにて話し合っただき、今後のクラブ奉仕委員会各活動の参考になりたいと思っておりますので、活発なご意見をよろしくお願い致します。

1 番テーブル

辻 信之会員



1 番テーブルは、山本会員、高井会員、加藤会員、廣濱会員、テーブルリーダー鬼頭会員、発表者辻会員の6名でテーブルディスカッションを行いました。およそ45分間という短い時間でありましたがそれぞれ違った立場や角度から闊達なご意見やアド

バイスを頂いた内容を報告させていただきます。

- 「ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんなことですか？」について皆さんからのご意見や思いを集約させて頂きました。ロータリアンが I serve の精神で自ら調査を行い地域のニーズにあった情報を正しく調べながら求められている目の前の人を支援する奉仕活動が地域への思いやりであるということ。もう一つは活動団体や支援をする人を育てることが地域社会への思いやりであることを結論づけました。例として、市内の高齢者や弱者の子供達を助ける生活への支援、障害者への福祉への支援、スポーツへの支援、ユニバーサルデザインの推進への支援などが挙げられました。
- 「楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか？」について皆さんからの数多くのご意見や思いを頂きましたのでご報告させていただきます。
 - ・例会に出席してコミュニケーションを図ること。
 - ・自分の役割を一生懸命行うこと。
 - ・公共イメージを上げること。
 - ・自分が楽しむこと。
 - ・相手にやらせるのではなく自らあせを掻くこと。
 - ・目の前の人に奉仕活動すること。
 - ・挨拶を自ら行うこと。
 - ・楽しむポイントの見方を変えること。
 - ・既得権益を守る為に真実を捻じ曲げて口封じをしないこと。
 - ・パワーハラスメントを行わないこと。
 - ・会員に嫌がらせをしないこと。
 - ・理事会で協議・審議したものを行うこと。議事録と議事提案書の開示をすること。
 - ・被害者と加害者しかわかりませんが部外者の越権行為を認めないこと。
 - ・委員会や理事会で話し合っていないことを水面下で無理やりやらせる行為をさせない為にも、理事会でクラブの問題点をアンケート形式で行い改善策を検証すること。
 - ・チームワークを重視して組織運営を行うこと。
 - ・正しい情報を会員が共有できる環境づくりをすること。
 - ・人の悪口を影で言わないこと。
 - ・クラブ方針を会員に分かりやすく説明すること。

- ・小さな親切心でお役に立つこと。思いやりをもつこと。
- ・ロータリーの基本理念・四つのテストを学び実践すること。以上です。



2 番テーブル

青山泰三会員、太田和彦会員



- ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんな事ですか？
ロータリアンとは、地域社会に奉仕することを目的とした国際的な社会奉仕団体である。このことから…
○クラブ会員への思いやりは、『相手の立場で考えること！』

地域の自治会活動、青少年活動、消防団活動、祭りなどの行事に積極的に参加し、**地域社会への思いやりを学び**、「地域が抱える問題はなにか、そして、その問題、課題についてなにが出来るのか」を**相手の立場で考え**、**地域の活性化と向上や、幸福をもたらす奉仕活動をする。**

- 個人が能力や経験などを活かし、個人や団体を支え合い、自分の時間を提供し、“対価”を目的とせず、自分を含め、他人や、地域社会のために役立つ奉仕活動をする。
- 例会で学んだ事は、**人づくりになり**、その、人ひとりの、能力や人間性を育てることだけでなく、社会や組織に貢献できる人材を形成することでもある。例会で学んだこと、経験したことを活かし、地域社会への思いやりを持って奉仕活動をする。
- 2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか？
 - 入る委員会で、役割をしっかりと決めるなどして、個々の会員の**居場所をつくる**。また、**声を掛け合い、孤立させない**。そして、誰にでも相談ができ、話し合いができるような雰囲気づくりをして、**恥をかかせない**ようにする。
 - 「待ち遠しい」、「来て良かった」と思い、感じられるような**環境づくりと雰囲気づくり**をする。
 - 例会に出席して、奉仕活動をしていく中で、会員同士の会話から、**気づきや元気（パワー）をもらえ、心の若さをいつまでも保つ**ことができる。
 - 職業人としてのロータリアンの心構え『**4つのテスト**』
真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかをクリアする。
 - ビジターも参加したいと感じられる『**おもてなし**』をする。
 - 形式に囚われない（本質が大切）**
 - 皆が**プレッシャーに感じていることを敢えて崩す（人間的）** ➡その先に新たな楽しさを発見する。



3 番テーブル

今川明彦会員



1. ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんな事ですか？

- ・地域の発展につながる活動、駅前の活性化（提案として、市電の無料化）
- ・住みやすい街づくりの為に活動する（ロータリーの仲間で活動する）

・職業を通じて、地域社会に貢献をする。明るい豊かな町づくり

・地域社会に対して奉仕する事

2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか？

- ・例会に出席する事で、一緒にいて楽しい仲間を作る。
- ・例会に出席をして、年齢の違う方と話をする。
- ・人と人との思いやり（和を以て貴しとなす）

和を以て貴しとなすとは、「仲良くすることは尊いことである」という意味のことわざです。「和」は「仲良くすること、協調すること」を意味し、「貴しとなす」は「尊重に値する」という意味を持ちます。このことわざは、みんなが仲良くやり、いさかいを起こさないのが良いということを教えています。「和の精神」とされるこの言葉は、派閥などに分かれて闇雲に対立するのではなく話し合いで理解し合う大切さを説いています。



4 番テーブル

牧 岳大会員



4 番テーブルでは、テーブルリーダー 一富田会員のもと、牧野会員、梅田会員、真野会員、牧でディスカッションしました。各設問につき、ディスカッションにより得られたご意見を記載いたします。

1. ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんな事ですか？

- ・自治会活動を一生懸命やることで地域のことを知る。そして理解者を増やす。このことが地域社会への思いやりとなり、他の件にも広がっていくと思う。
- ・ロータリー精神の根幹は思いやりだと思う。ロータリアンになる前に社是が存在したが、「社業を通じて社会に奉仕する」というものがある。不思議とロータリー哲学との一致を感じる。

- ・ロータリーは他業種の集まりなので、他業種の方の考えというものを学べる。お互い学びあうことで人づくりとなっていると思う。もちろんそれには、己の足らざるところを他者から学ぶ姿勢や勉強、努力が必要だとも思う。
- ・高齢となり行政からの支援を受ける身となったが、県や市も地域社会に対し頑張っていて、それが思いやりの心から生じているものと感じている。仕事とはいえ、ある意味ロータリアンよりも奉仕しているのではとも感じる。我々も青少年奉仕等、頑張っていけばと思うが、若い会員を中心に具体的な奉仕活動を考えて頂ければ協力したいと思う。
- ・街づくりというものに対し、建築の勉強も兼ねながら関わってきたが、今の時代、行政主導よりも住民参加の形でという方が良い結果を出していると思う。豊橋でできることという中で、街中の公園 2 つの整備を住民参加で行えた。市民グループを作ることで、1 人ではできないことも実行できた。「1 人ではできないことも協力すればできる」という姿勢はロータリークラブで学べると思う。
- ・自分の企業を発展させることが、安定した雇用の拡大等、地域に好循環を生み出す。情報に基づいて企業の行動を決めることになるが、情報の元になるのは会話であり、会話に基づいた発想の交換というのは例会で学べる。例会中の出番の有無に関係なく、常に切磋琢磨を意識すると良いと思う。
- ・ここまで出た意見や考えを基にクラブ内で切磋琢磨し、その上でクラブとしての奉仕活動をすれば地域社会に対し良い奉仕活動を行えると思う。

2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大切だと思いますか？

- ・例会は企画する側、出席する側とあるが、どの役割の時にどういう意識か。一般的に「楽しいには個人差がある」と言われている中で、最終的には自分の心の持ちよう次第だと思う。
- ・「例会に出席すること」これがロータリアンにとって一番大事。ロータリアンの 3 大義務のうちの 1 つでもある。ただし、各会員を考えた時には温度差もある。「待ちどおしい例会」という言葉もある。最終的にクラブの良し悪しというものは、出席率に現れる。例会出席をしっかりやるのが他の会員との相互理解に繋がり、更に、協力関係というものに発展していく。これが親睦だと思う。ロータリーの奉仕は親睦の上に立ったもの。親睦を深めるための入り口としての例会出席。例会出席を啓蒙することが重要だと思う。親睦の延長線上に奉仕がある。
- ・例会場や委員会の場など、話し合うことで相手への意識は変わる。ロータリーを通じて良い友達を。そして友達をたくさん作ることが大事だと思う。
- ・「楽しい」となるかは、自分の考え方や心持ち次第。ロータリーを通じて、気の知れた友人と会えて話ができる。私にとっては、メンバーに会えること自体が楽しい。
- ・昔のある年度に、ガバナーの音頭のもと、他クラブとの交流が図られたことがあった。この効果として「我々も負けてられないぞ」という自クラブに対する誇りのようなものが醸成されたと思っている。
- ・趣味の会に関しても、ストレスの発散になることのみならず

らず、交流にもなる。

- 昔、創立後間もない頃、英会話に関する趣味の会が存在した。ロータリー用語の理解の助けになったという一面があった。
- 本日歌ったクラブソング。クラブソング自体、持っているクラブは、そう多くない。豊橋市内では我々だけ。「かがやく空」の歌詞には実は4つのテストのキーワードを取り入れてある。当時、会員公開の場で歌詞を作ったという経緯がある。



6 番テーブル



小久保拓吏会員

1. ロータリアンとして地域社会への思いやりとはどんな事ですか？

*地域社会が必要としているものを、アンテナを立てキャッチし、それに取組むこと。

*自分の会社周りの掃除など、近隣

に対する奉仕活動。

*ロータリアンとしてを外すと考え易い。地域社会活動に参加すること。

*一方通行の思いやりではなく、必要としてることに對する活動が思いやり。

*ゴールドデンロータリークラブとして活動することが思いやり。

*ロータリアンの思いをロータリーとして活動すること。

2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか？

*親睦やコミュニケーションが大切。意識を持って活動すること。

*例会に参加すること。

*興味をもった例会や奉仕活動を取り入れる。

*楽しみを得るには、例会や奉仕活動に積極的に参加すること。

*自分が楽しめれば、周りも楽しくなる。

*先ず、参加して好きになること。

*「入れて学び、入れて奉仕せよ」が基本で、学ぶことが特に重要。学び理解し活動すれば楽しくなる。理解無くして活動することは楽しくない。



5 番テーブル

鵜殿健次会員



5 番テーブル 村松 光、鈴木紳昭、石原聖季、保永真生、鵜殿健次

1. ロータリアンとしての地域社会への思いやりとはどんな事ですか？

・ロータリーに入会して活動すること

- ・ロータリーで学んだ心で地域奉仕（保護猫活動等）
- ・最後は、本気で「愛」をもって地域に届けることが出来るか。

2. 楽しい例会、楽しい奉仕活動を行うには何が大事だと思いますか？

・普段あまり会わない人どうしてロータリー活動を実践しているのか、委員長の思いをメンバーで共有して活動することが大事。

・最後は、本気で「愛」をもって活動することが大事。



★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：加藤クラブ奉仕委員長よろしくお願ひ。

廣瀨成一：乾杯をさせて頂き。

辻 信之：入会記念日をお祝い頂き。

浅井大介：月間出席報告をさせて頂き。

神谷 馨：本年最初のクラブフォーラムです。よろしくお願ひ。

加藤ゆり子：クラブ奉仕のフォーラムです。皆様のご意見をたくさんお待ちしております。よろしくお願ひ。

神谷 馨・富田正行・

鬼頭秀幸・村松 光・

太田和彦・中村信祐：テーブルリーダーを務めさせて頂き。

小久保拓吏：夏の家族会、皆様の参加を切に願ひます。ラストスパートです。

小久保拓吏：アッセンブリーに遅刻してすみません。

太田和彦：本日ニコボックスを発表させて頂き。

太田和彦ニコボックス委員長

★幹事報告

・2023-24 年度地区大会のご案内、IAC 年次大会参加のお礼状が届いております。

★他クラブの例会変更

■8月7日(月) 豊橋南 RC 納涼例会

■8月9日(水) 豊川 RC 納涼家族会開催のため